

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成27年8月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報は生命(いのち)の記録

土井 章弘

一般財団法人 操風会
岡山旭東病院 院長

診療情報管理士の仕事は、紙による診療録の記録・管理に始まったが、IT技術の進歩によって電子カルテが登場し、チーム医療の中で、患者さんの生命(いのち)の記録の全てを診療情報として管理するようになった。診療情報は、その人が生まれて逝去するまでの記録の一部と言っても良い。この貴重な情報は、洋の東西を問わず、医学の進歩に役立ってきたものである。研究の資料として医学の進歩に役立つことは勿論、臨床指標(clinical indicator)に加工されて病院の質の向上に資することができる。

急性期病院に於いては、DPC/PDPSが導入され各病院の受診状況、病床稼働率、疾病構造、在院日数などが分析され、二次医療圏のみならず県単位での個々の病院の役割が、比較できるようになってきた。病院の質は、①医療の質 ②経営の質 の2つの質のバランスで問われる時代となっている。医療の質は、医療サービスの根幹である。疾病に対する的確な診断と治療は、いつの時代でも変わるものではない。それを支えるものは、医師を含めた多くの医療従事者とのチーム医療である。そのチーム医療を円滑に進めるためには、財務内容を含む病院経営の質が問われる。日本医療機能評価機構・ISO・JCIなどの第三者による評価も、病院の質を向上させる指標となっている。

従って、病院の質の向上のためのマネジメント能力がますます重要になってきている。病院の経営の質を高めるためには、各病院の診療情報が不可欠である。診療情報管理士は、電子カルテを含む様々な情報を集め、加工して、医療の質や経営の質の向上に役立っている。病院から在宅までの地域包括ケアシステムの中で、診療情報管理は診療情報管理士の大きな役割である。これから診療情報管理士の役割がますます期待されている。岡山市で2015年9月17日~18日に第41回日本診療情報管理学会学術大会(テーマ:診療情報は、いのちの記録)が開催される。学生セッションも例年活発になっている。受講生の皆様が希望をもってこの道を歩まれることを願っている。

